

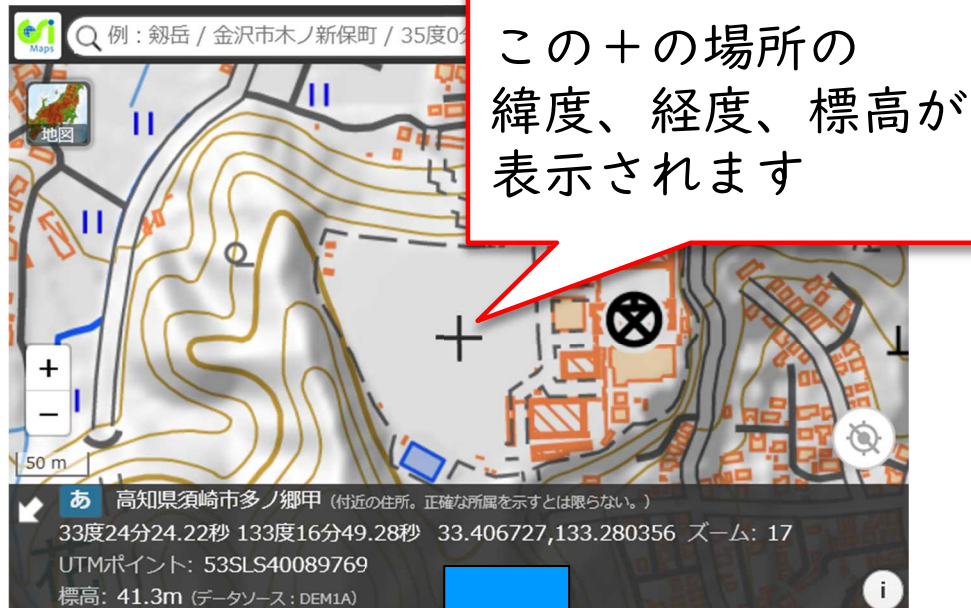
測量・地図学習会
地理院地図体験講座
～ 電子基準点と自然災害伝承碑を通して ～

令和8年6月

国土地理院 四国地方測量部

- 地理院地図
- 電子基準点
- 自然災害伝承碑

自宅の緯度、経度、標高を調べましょう



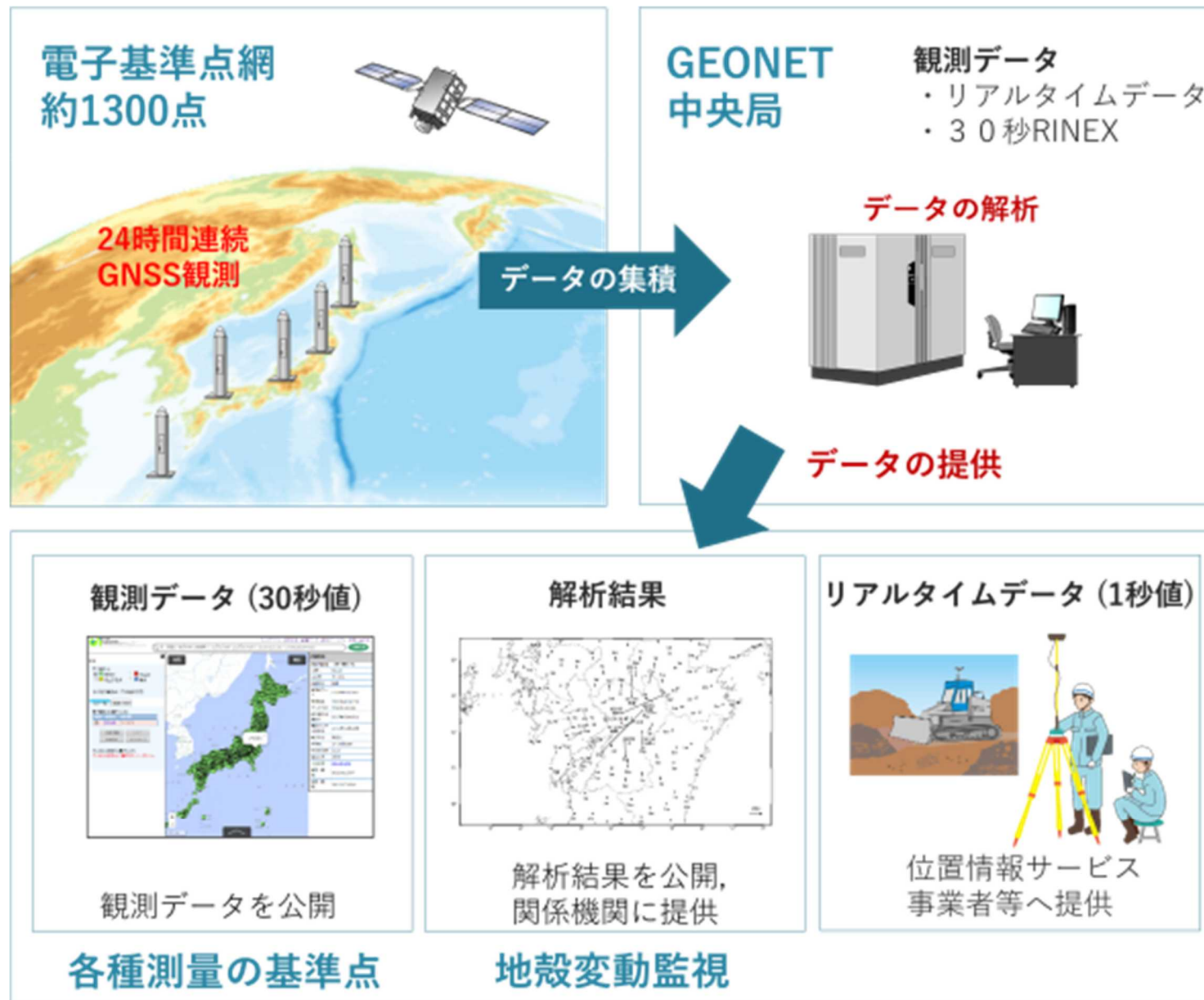
緯度（度単位）
33.406727 の場合
ワークシートには、
小数点以下第2位までを記入
33.41

あ 高知県須崎市多ノ郷甲 (付近の住所。正確な場所を示すとは限らない。)
33度24分24.22秒 133度16分49.28秒 33.406727, 133.280356
UTMポイント: 53SL S40089769

標高（度単位）
41.3m の場合
ワークシートには、
小数点以下第1位までを記入
41.3

経度（度単位）
133.280356 の場合
ワークシートには、
小数点以下第2位までを記入
133.28

我が国の位置の基準





平成30年7月豪雨（西日本豪雨）

平成30年7月豪雨により発生した土砂災害で多くの犠牲者が出た広島県坂町では、100年以上前の大水害の被災状況を伝える石碑が現地に建立されていたものの、地域住民にその内容が十分に伝承されていませんでした。

このような経験から、**過去の自然災害の教訓を適切に伝承**するとともに、**教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減**をめざし、国土地理院で情報の整備と公開を開始しました。



写真提供：大阪府警察

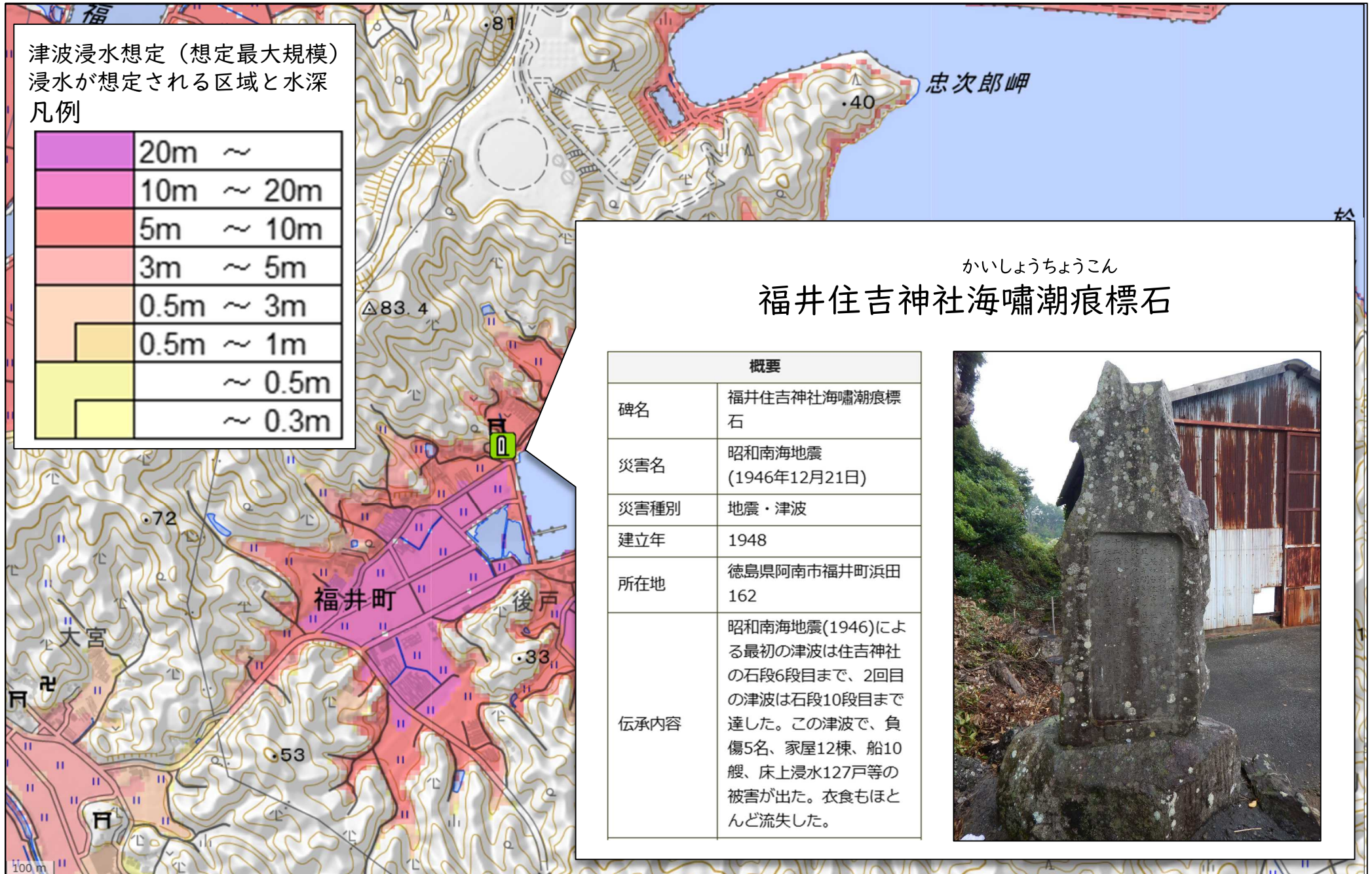
【水害碑（広島県坂町）の伝承内容】

明治40年（1907）7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

平成30年7月豪雨当時、避難勧告を受けた小屋浦地区の住民の避難率は、坂町全体の半分程度にとどまっていた。

津波浸水想定（想定最大規模）
浸水が想定される区域と水深
凡例

	20m ~
	10m ~ 20m
	5m ~ 10m
	3m ~ 5m
	0.5m ~ 3m
	0.5m ~ 1m
	~ 0.5m
	~ 0.3m



かいしょうちょうこん
福井住吉神社海嘯潮痕標石

概要	
碑名	福井住吉神社海嘯潮痕標石
災害名	昭和南海地震 (1946年12月21日)
災害種別	地震・津波
建立年	1948
所在地	徳島県阿南市福井町浜田 162
伝承内容	昭和南海地震(1946)による最初の津波は住吉神社の石段6段目まで、2回目の津波は石段10段目まで達した。この津波で、負傷5名、家屋12棟、船10艘、床上浸水127戸等の被害が出た。衣食もほとんど流失した。

